ゴルフ天国

毎週木曜日掲載

ゴルファーのレベルアップのための補助用具が注目されている。ただ、数多くのものが出回っているため、何を使えばいいのか分からない人も多いのではないだろうか。そこで米ツアーで活躍している宮里藍やハニカミ王子・石川遼が使っている話題の〝お役立ちグッズ〟を紹介する。藍ちゃんやハニカミ王子になった気分でスコアアップに励んでみてはいかが。

（雨宮　圭吾）

手にしたいグッズ 手にしたい技術

飛距離アップに遼バット

メトロノームで藍パット

「パワフルスイング」で試合前に調整する石川 ㊦宮里が愛用するメトロノーム

クラブの感覚で

バットのようだけどバットじゃない。プロにもひけを取らない飛ばし屋の石川が、日頃愛用しているのが、ライト社（本社・東京都北区）のバット型スイング練習器具「パワフルスイング」だ。

野球出身のジャンボ尾崎らは、以前からマスコットバットを使った素振りを練習に取り入れている。このパワフルスイングはノックバットのグリップ部分を細くし、ゴルフグリップを装着した改良版。クラブを振る感覚そのままにスイングができるという。

筋力つく「パワフルスイング」

重さや長さによって5種類に分かれている。石川が使っているのは長さ約90㌢、重さ約680㌘のGF－90で、ショット練習の前に左右両方で素振りをしている。クラブよりも重いバットを振ることで、体をほぐして全身でスイングする感覚を呼び覚ます。さらに、毎日振り続けることで筋力がつき、飛距離アップにもつながったという。

他のジュニアや、プロでもバッグにパワフルスイングを忍ばせている選手は多い。商品担当の林崎盛信さんは「ヘッドの重みを感じるスイングのイメージづくりには最適です。アマチュアの方にも絶対にいいはずです」と力説する。

99年から販売されているロングセラー商品だが〝ハニカミ効果〟で一気に注目を集めるようになった。石川が使っているタイプと同型のものを月産1500本から2000本に増やしたものの、生産が追いつかない状態だ。

無意識に速まるリズムを矯正

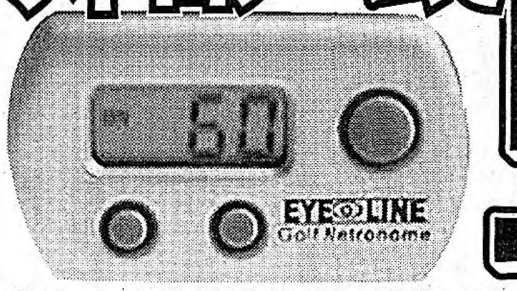
次に紹介するのは宮里藍が使っているメトロノーム。ゴルフ用に開発されたもので、今年5月に「パッティングの確率をもっと上げたい」と無意識に速まってしまうリズムを矯正するために購入した。

練習中に使い続けることで一定のリズムを体に覚え込ませる。宮里はパット練習で使っているが、ショット練習の場合でも有効。同じテンポを保つことで安定したプレーを続けられる。帽子やベルトに装着でき、ストロークの邪魔にもならない。

ともに品薄状態

宮里のは米国のアイライン社製のもの。日本の輸入元であるヤマニ（本社・東京都千代田区）によればすでに7月上旬に完売してしまったとのこと。流通在庫があるだけだが、米国からの再入荷を検討している。

ゴルフ用メトロノームは他社製品もあり、藍ちゃんモデルにこだわらなければ、手軽に手に入れることができる。遼くんバットに藍ちゃんメトロノーム、人気プレーヤーが使う人気グッズはアマチュアのレベルアップにも大きく役立つはずだ。



POWERFUL SWING
GF-90
パワフルスイング
飛距離アップの秘密兵器!!

石川が使用し、一気に人気商品となった「パワフルスイング」

プレゼント

◆遼くんバット　ライト社から石川遼が使っているのと同モデルのスイング練習器具「パワフルスイングGF－90」を1人に。

◆平塚ウエア　平塚哲二プロが契約するブランド「ダンスウィズドラゴン」から、しなやかで快適な着心地のラグランジップポロ（グレー、XLサイズ＝写真）を1人に。

◆SANKYOレディース招待券　女子ツアーのSANKYOレディースは10月5～7日に群馬・赤城CCで開催される。入場招待券を10組20人に。

【応募方法】希望者ははがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、〒100－8666、東京中央郵便局私書箱277号、スポーツニッポン新聞社スポーツ部、「遼くんバット」または「平塚ラグランポロ」または「SANKYOレディース入場券」プレゼント係まで。19日の消印まで有効。

【8月30日付プレゼント当選者】▽平塚鹿の子ポロ＝中村倍（茨城県猿島郡）▽横峯優勝ボール＝山田大（福島県郡山市）秋山桂子（埼玉県鴻巣市）山崎一善（東京都台東区）＝敬称略＝

平塚哲二プロ スコアUPの夏 11

1㍍以内のショートパットを確実にカップインできればスコアを大きく崩すことはない。狙ったポイントに対して確実にボールを打ち出す方法をマスターしよう。

1㍍以内ショートパット

アマチュアがショートパットを外す大きな理由は2つある。1つはインパクトでパターフェースが目標を向いていないこと。もう1つは打ち切れていないことだ。

「アドレスでボールを目の真下に置いていないため、自分ではフェース面を目標に向けているつもりでも、実際はフェース面が傾いてしまっているのです」

ボールが目の真下よりも体に近ければ、フェースは閉じるし、逆に目の真下よりも体から遠くにあれば、フェースが開きやすい。これではいくらパターヘッドを目標に向かって真っすぐ引いて真っすぐ出しても、ボールは目標の左右に打ち出されてしまう。

「アドレスに入った後にフェース面を調整する動作も微妙なずれを生みます。フェース面を目標に合わせながらスタンスの位置を決め、アドレスが完成したら、ヘッドを動かさずにテークバックに入りましょう」

「カップ50㌢オーバー」のイメージで

また、ボールを打ち切れない人には次のようにアドバイスする。

「カップを50㌢ほどオーバーさせるイメージで打ちましょう。多少強めに打った方が、ボールが曲がりにくいというメリットもあります」

強めに打つことは、傾斜に左右されない分、スライスかフックかで悩んだときなどにも有効だ。

フェースの向き、距離感が合っていてもカップを外すという人は、ヘッドを右へ押し出したり、左へ引っ張り込んでいる可能性が高い。

「練習グリーンでヘッドと同じ幅にティーペッグを2本刺し、その間にボールを置いて打ってみましょう。インパクト後にヘッドが2本のティーペッグに対して同時に当たるなら正しいストロークをしていますが、どちらかに先に当たる場合、ヘッドを真っすぐ出していないと判断してください」

トー側が先にティーペッグに当たるなら、ヘッドを左へ引っ張り込んでいるし、ヒール側が先にティーペッグに当たるなら、ヘッドを右へ押し出していると判断していい。アドレスでのフェース面の向きをチェックすることにもなるので、朝のスタート前にこのドリルを行っておくだけで、ショートパットをカップインさせる確率が高くなる。

50㌢オーバーする気持ちで強めに打つと曲がりにくい

「ハニカミ王子」商標登録出願

〝便乗〟食品メーカーが申請

先月の日本ジュニアで優勝し笑顔を見せる石川

石川遼（15＝東京・杉並学院高1年）のニックネーム「ハニカミ王子」が商標登録出願されていることが12日、分かった。富山県の食品メーカー「喜八食品」と個人の2件。「はにかみ王子」の表記で6月12日に出願した喜八食品の五天外喜雄（ごてん・ときお）社長は「以前の大会で〝ハニカミ王子パン〟を売って人気だったという報道を見て申請しようと思った。栄養ドリンクなどで使えればいい」と説明した。

登録には平均6～7カ月の審査期間を要する。過去にはフィギュアスケートの荒川静香の得意技で有名となった「イナバウアー」をアサヒビールが出願したが拒否された。

特許庁関係者「難しい」

特許庁関係者は「イナバウアーの例のように、個人を特定するものや、便乗するものは一般的には難しい」という。早大・斎藤佑樹投手の愛称「ハンカチ王子」も出願はあるが、同様の理由で認められていない。今回も認められる可能性は低いが、便乗しようとする企業が出てくるほど石川人気は絶大だ。

きょう開幕ANAオープン

3週連続Vへ 谷原好調維持

男子ゴルフのANAオープンは、きょう13日から北海道北広島市の札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースで開幕する。注目はツアータイ記録となる3週連続の優勝に挑む谷原秀人（28）。12日はプロアマに出場し「調子は変わっていないし、ドライバーもまとまっているので頑張ります」と意欲を見せた。賞金トップの谷口徹（39）は出場しておらず、約3600万円の差を縮めるチャンスだ。

ライト社　ユニークなゴルフ用品（小物）の開発と創造する総合メーカー。「LITE」マークのついた黄色のパッケージが目印。「パワフルスイング」のほかティーや雨対策のグッズが充実